

医療行動科学7

年次	学期	学則科目責任者
4年次	前学期	伊藤 孝訓 (歯科総合診療学)

学修目標 (GIO) と単位数	単位数：1単位 「診断する」とは、患者に付随している異常な状態を病態生理学的立場のみならず、心理的、社会的要因を含む広い立場から、現状で可能な診断情報を収集し、総合的な（病態、臨床疫学的な確率データ、患者の意向・価値観、医師と患者の心理など）判断に基づいて最適な医療を行うための根拠を得る過程（プロセス）であることを理解する。 「歯科総合診療学」とは、歯科医学の細分化傾向に対して口腔疾患を総合的に診るとともに、患者の全身機能との関連、生活習慣や環境などの背景をも配慮し、歯科のcommon diseaseを対象にプライマリ・ケアとして治療と継続的なフォローを包括的に行う学問であることを理解する。
担当教員	伊藤 孝訓、多田 充裕、青木 伸一郎、内田 貴之、遠藤 弘康、岡本 康裕、※大山 篤
教科書	「歯科医療面接アートとサイエンス」 伊藤孝訓編著 砂書房 (改訂版)
参考図書	「患者ニーズにマッチした歯科医療面接の実際」 伊藤孝訓, 寺中敏夫編集 クインテッセンス出版 「イラストレイテッド・クリニカルデンティストリー①患者の診かたと歯科診療」 黒崎紀正他編集 医歯薬出版 「臨床医になるための必修アイテム」医療面接から臨床判断学まで 竹村洋典 南江堂 「臨床入門 臨床実習の手引き」 福井次矢 医学書院 「口腔診断学」 下里常弘他 医学書院 「歯科口腔診断ハンドブック」 増田 屯, 藤澤盛一郎 医学情報社 「歯科医のための医療コーチング入門」 岸 英光 砂書房
実習器材	なし
評価方法 (EV)	講義：授業時間内に行う平常試験 (60%)，制作物・体験実習レポート (30%)，授講態度 (10%) をもって総合評価 (最終評価) する。 平常試験の結果に応じて，補講または再試験等の措置を講じることがある。 受講態度は出席することが前提として与えられ，講義・演習参加への積極性を評価対象とする。 授業時間数の1/5以上を欠席した場合，成績評価は0～60点とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	医療の本質は不確実性にあるといわれており，この問題に対処する方法として，本講義は歯科医師として眼前の患者さんに最良な治療やマネジメントが奏功できるように，臨床各科の知識を頭の中で整理統合し，再編成できる考える力を育てる学問であり，臨床において患者に対応する際に即役立つことなので，興味を抱いて講義に参加して欲しい。 E-mail (shindan.md.ml @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/04/05 (木) 3時限 13:10～14:40	ガイダンス 1) 医療者の態度 2) 診断学とは 3) 医療の不確実性 4) 患者医師関係	<p>【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、医療面接と臨床判断学に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 期待される医師の態度を説明できる。 2. 口腔診断学と歯科総合診療学を説明できる。 3. 総合診療学の歯科臨床における役割を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認する。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療 (インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。</p>	伊藤 孝訓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/04/05 (木) 3時限 13:10～14:40	ガイダンス 1) 医療者の態度 2) 診断学とは 3) 医療の不確実性 4) 患者医師関係		伊藤 孝訓
2018/04/12 (木) 3時限 13:10～14:40	臨床判断学 (1) 1) 臨床 (診断) 推論 2) 診断プロセス 3) 医学判断学	<p>【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、歯科疾患の診断思考に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床情報には不確実性要素を含み、不確実性下で臨床判断を行うことを説明できる。 2. 基本的な診断論理を説明できる。 3. 意思決定の方法について説明できる。 4. 診断プロセス (診断情報の収集・分析・決定) について列挙し説明できる。 5. 医学判断学について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 基本的な問題解決法についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 ク 根拠に基づいた医療 (EBM) a 意義、患者への適用</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-3 診療技能と患者ケア ③口腔・顎顔面領域の疾患を正しく診断し、患者の立場を尊重した治療方針・治療計画を立案できる。</p>	伊藤 孝訓
2018/04/19 (木) 3時限 13:10～14:40	臨床判断学 (2) 1) EBM 2) 決断分析の実例	<p>【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、EBMに関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 診断テストを使うことができる。 2. EBMの概念を説明できる。 3. 臨床判断分析の手順を説明できる。 4. Decision tree による実際例を説明できる。 5. NBMの概念を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 診断推論についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 ク 根拠に基づいた医療 (EBM) a 意義、患者への適用</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。</p>	内田 貴之
2018/04/26 (木) 3時限 13:10～14:40	医師の心理 1) 誤診 2) 医療過誤最少化	<p>【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、医療過誤が発生する要因に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 経験則による判断に内在する問題やバイアスを説明できる。 2. 臨床判断時の誤診を導く心理特性について説明できる。 3. 診断プロセスの各ステップに起こるバイアスを説明できる。 4. ヒューマンエラーについて説明できる。 5. 歯科の医療過誤訴訟の特性について説明できる。 6. クリティカルパスについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 医療の齟齬についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p>	伊藤 孝訓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/04/26 (木) 3時限 13:10～14:40	医師の心理 1) 誤診 2) 医療過誤最少化	<p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 オ 医療事故の防止 a 医療事故と医療過誤</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 オ 医療事故の防止 b 医療事故の発生要因 キ 医療裁判 a 医事紛争、賠償</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-6 医療の質と安全管理 A-6-1) 安全性の確保 ①医療上の事故等の発生要因 (ヒューマンエラー、システムエラー等) を説明できる。 ②医療上の事故等に対する防止策を説明できる。</p>	伊藤 孝訓
2018/05/10 (木) 3時限 13:10～14:40	患者の心理 1) 歯科患者の特異性 2) 心理的配慮	<p>【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、歯科患者の心理特性に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科患者の特異的な心理状況について説明できる。 2. 患者対応時の注意点を列挙できる。 3. 患者の望む治療者 (歯科医師) の人間像を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 患者心理を行動科学4で復習する。 ・準備学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 e 患者・障害者の心理と態度</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ⑤診療室における患者の心理と行動を説明できる。</p>	多田 充裕
2018/05/17 (木) 3時限 13:10～14:40	医療面接 (1)	<p>【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、医療面接の意義と目的に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 医療面接の目的を説明できる。 2. 医療面接で行う具体的な内容を説明できる。 3. 情報の伝達の難しさを説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 話を聴く態度、感情への対応、患者を理解するために必要な事項についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の</p>	大山 篤

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/05/17 (木) 3時限 13:10～14:40	医療面接 (1)	指導、動機付け、治療への参加 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) 【コアカリキュラム】 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。	大山 篤
2018/05/24 (木) 3時限 13:10～14:40	医療面接 (2) 1) 会話のマナー 2) コミュニケーションの進め方 3) 患者教育	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、効率的に情報収集する仕方を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 聴く態度の重要性について説明できる。 2. 患者とのよいラポールを確立するための方法を説明できる。 3. 患者教育のためのコーチングスキルを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 医療面接についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ③病歴聴取 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等)を説明できる。 ⑤診療室における患者の心理と行動を説明できる。	青木 伸一郎
2018/05/31 (木) 3時限 13:10～14:40	平常試験 1・解説 講義	【授業の一般目標】 【準備学修項目と準備学修時間】 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 【学修方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302教室	伊藤 孝訓 内田 貴之
2018/06/07 (木) 3時限 13:10～14:40	医療面接 (3) 1) OSCE 2) ロールプレイ 3) 会話分析	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、効率的な会話スキルを学ぶ会話分析に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. OSCE (試験) の実施の仕方を概説できる。 2. ロールプレイの目的や方法を説明できる。 3. 信頼関係を確立するための医療面接スキルを説明できる。 4. トランスクリプトの目的や方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: ロールプレイについてネット等で調べ復習する。 ・準備学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本	青木 伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/06/07 (木) 3時限 13:10～14:40	医療面接 (3) 1) OSCE 2) ロールプレイ 3) 会話分析	ウ 医療面接 c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ⑤診療室における患者の心理と行動を説明できる。	青木 伸一郎
2018/06/14 (木) 3時限 13:10～14:40	医療面接 (4) 1) 動機付け面接 2) 説明技法	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、動機付け面接、説明技法に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 医療面接を行うための基本的コミュニケーションを説明できる。 2. 信頼関係を確立するための医療面接スキルを説明できる。 3. 患者が理解しやすい説明の仕方を説明できる。 4. 患者の行動変容を促す動機づけ面接を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 医療面接の聴き方・説明の技法療についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ③病歴聴取 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等)を説明できる。	伊藤 孝訓
2018/06/21 (木) 3時限 13:10～14:40	診療録 (1) 1) 診療録の構成 2) 現症 (全身的所見) 3) 現症 (口腔内・外所見) 4) 口腔内診査 5) 患者背景 (生活習慣・社会歴) 6) 主訴 7) 現病歴 8) 既往	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、診療録の構成・記載内容に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 診療録の構成を列挙できる。 2. 現症の基本的な記載について説明できる。 3. 口腔内診査の項目を列挙できる。 4. 患者背景の重要性を説明できる。 5. 主訴の定義と歯科特有の主訴を列挙できる。 6. 現病歴の基本的な記載について説明できる。 7. 医科的・歯科的既往歴の重要性を説明できる。 8. 家族歴の重要性を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 診療録とは、についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 コ 診療録、医療情報の記録と管理 a 診療に関する記録 (診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、技工指示書、模型)の管理・保存 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本	岡本 康裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/06/21 (木) 3時限 13:10~14:40	診療録 (1) 1) 診療録の構成 2) 現症 (全身的所見) 3) 現症 (口腔内・外所見) 4) 口腔内診査 5) 患者背景 (生活習慣・社会歴) 6) 主訴 7) 現病歴 8) 既往	E-1-1) 診察の基本 ④現症の取り方 (視診、触診、打診、聴診等) を説明できる。	岡本 康裕
2018/06/28 (木) 3時限 13:10~14:40	診療録 (2) 1) POS 2) POMR 3) SOAP	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、問題指向型診療録 (POMR) およびSOAPに関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. POSについて解説できる。 2. POMRの記載項目を挙げて各々について説明できる。 3. SOAPの記載項目を挙げて各々について説明できる。 4. 診断思考に基づいた問診 (病歴聴取) を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 患者記録の大切さについてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 コ 診療録、医療情報の記録と管理 b SOAP (主観的情報、客観的情報、評価、計画) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ⑦問題志向型診療記録 (problem-oriented medical record <POMR>) を説明できる	岡本 康裕
2018/07/05 (木) 3時限 13:10~14:40	診 察 1) 口腔内診査 2) 診査所見 3) 理学的診査と病態	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、歯科治療における口腔診査に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔の特異性と口腔病変に対する基本的な考え方を説明できる。 2. 口腔内診査の特性について説明できる。 3. 口腔内診査に用いる基本的な診査法の術式を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: これまでに学んだ歯科疾患について復習する。 ・準備学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 イ 基本主義 a 視診、触診、打診、聴診 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 イ 基本主義 a 視診、触診、打診、聴診 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ④現症の取り方 (視診、触診、打診、聴診等) を説明できる。	岡本 康裕
2018/07/12 (木) 3時限 13:10~14:40	症候学 (1) 1) 歯の症候 2) 歯髓の症候 3) 根尖歯周組織の症候 4) 辺縁歯周組織の症候	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、歯科疾患の症状・病態に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 齶触の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 2. 歯髓疾患の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 3. 根尖性歯周炎の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。	遠藤 弘康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/07/12 (木) 3時限 13:10～14:40	5) 口腔粘膜の症候 6) 口腔の感覚異常 (知覚・味覚)	4. 辺縁性歯周炎の症状, 診査所見, 病態を関連づけることができる。 5. 口腔粘膜疾患の症状, 診査所見, 病態を関連づけることができる。 6. 口腔の感覚異常の診査所見, 病態を関連づけることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: これまでに学んだ歯科疾患について復習する。 ・準備学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 c 口腔粘膜の疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患 ①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の病因と病態を説明できる。 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。	遠藤 弘康
2018/07/19 (木) 3時限 13:10～14:40	症候学 (2) 歯科における臨床推論 (診断) の特徴	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、歯科の臨床推論に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科診断における思考過程について説明できる。 2. 症状、診査所見から診断名を推論できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 歯科疾患の症状、診査所見、病態について復習する。 ・準備学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ①歯周疾患の症状及び全身疾患との関連を説明できる (疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む)。	多田 充裕
2018/08/30 (木) 3時限 13:10～14:40	平常試験 2・解説 講義	【授業の一般目標】 【準備学修項目と準備学修時間】 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 【学修方略 (L S)】	伊藤 孝訓 内田 貴之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/08/30 (木) 3時限 13:10~14:40	平常試験2・解説 講義	その他 【場所(教室/実習室)】 302教室	伊藤 孝訓 内田 貴之